

令和8年9月11日

保護者各位

鳥栖市立基里中学校
校長 日吉 敬子

令和8年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和8年度全国学力・学習状況調査について

令和8年4月23日、下記のような内容で全国一斉に中学校3年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、数学、英語科）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校生徒の姿

(1) 国語について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を上回っていました。
- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」のすべての領域で全国の平均正答率を上回っていました。
- ・「話すこと・聞くこと」について、目的や場面に応じて、集めた資料を整理し、伝え合う内容を検討する力の定着がうかがえます。「書くこと」について、表現の効果を考えて描写する力の定着がうかがえます。「読むこと」について、文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉える力の定着がうかがえます。「言葉の特徴や使い方に関する事項」について、文脈に即して正しい漢字を書き、語句を文章の中で使う力の定着がうかがえます。「情報の扱い方に関する事項」について、情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使う力の定着がうかがえます。

(2) 数学について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を大きく上回っていました。
- ・すべての評価の観点においても、全国の平均正答率を大きく上回っていました。知識・技能の観点で、与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取る力の定着がうかがえます。思考・判断・表現の観点で、統合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明する力の定着がうかがえます。
- ・領域別にみると、「図形」「関数」「データの活用」において、全国の平均正答率を大きく上回っていました。「図形」の領域で、具体的な事象において、考察の対象となる角を的確に

捉える力の定着がうかがえます。「関数」の領域で、数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する力の定着がうかがえます。「データの活用」の領域で、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明する力の定着がうかがえます。

(3) 英語(「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の3技能)について

- ・全体の平均正答数は、全国の平均正答数を上回っていました。
- ・「読むこと」「書くこと」に関する問題では、全国の平均正答数を上回っていました。「読むこと」の領域で、日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を読み取る力の定着がうかがえます。「書くこと」の領域で、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書く力の定着がうかがえます。
- ・「聞くこと」に関する問題では、全国平均正答数を下回っており、社会的な話題について、話を聞き、要点を捉える力に課題が見られました。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校生徒の姿

- ・「朝食」については、本校は81.0%の生徒が毎日食べていると回答し、肯定的な回答をした生徒の割合は全国平均を上回っており、基本的な生活習慣が身に付いていることがうかがえます。
- ・「将来の夢や目標を持っているか」については、本校は50.0%の生徒が持っていると回答しており、全国平均を12.6%上回っており、将来のことを前向きに考えていることがうかがえます。
- ・「自分と違う意見について考えるのは楽しい」については、本校は54.8%の生徒が当てはまると回答しており、全国平均を22.8%上回っており、様々な考えを素直に受け入れ、自分の考えをより良いものに変えていこうとする意識の高まりがうかがえます。
- ・「地域や社会をよくするために何かしてみたい」については、本校は50.0%の生徒が当てはまると回答しており、全国平均を27.9%上回っており、社会参画への意欲の高まりがうかがえます。
- ・「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」については、本校は47.6%の生徒が当てはまると回答しており、全国平均を18.3%上回っており、自己調整をしながら主体的に取り組む学習態度の定着がうかがえます。
- ・「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」については、本校は69.0%の生徒が当てはまると回答しており、全国平均を20.0%上回っており、共感的な人間関係を築く力の高まりがうかがえます。
- ・「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」という質問に、当てはまる、どちらかというと当てはまると回答した本校生徒は92.8%でした。
- ・「平日の一日当たりの勉強時間」については、2時間以上行っている本校生徒の割合が23.8%となり、全国平均より6.3%低い結果となり、家庭学習習慣の確立に向けた手立てが必要であることがわかりました。

4 今後の改善策（生徒の力をさらに伸ばすために）

- ・各教科において、課題解決的な活動やプレゼンテーション活動を積極的に取り入れ、生徒の主体的・対話的な学習を促すとともに、授業の活性化を図ります。
- ・今回の調査で課題となった英語の「聞くこと」に関する問題については、社会的な話題についてまとまりのある文章を聞いて、見出しや伝えたいことは何かを問う形式の問題を多く取り扱

い、改善を図ります。また、家庭学習習慣の確立については、家庭学習の計画を立てさせたり、授業と家庭学習のつながりを意識した課題設定の仕方を工夫したりするなど、継続的に取り組んでいます。

- ・1時間の授業の流れをできる限り統一したり、電子黒板を活用して内容を視覚的に捉えさせたりし、授業のユニバーサルデザイン化に取り組めます。
- ・素直に自分の思いや考えを伝えたり、周りの人の意見を受け止めたりすることができるような支持的・共感的な人間関係を構築し、安心して学習できる環境づくりに引き続き取り組めます。

- ・家庭でも次のようなことに心がけてください。

1 家庭での学習時間をつくってください。

- ◎学習する時間や時間帯を自分で計画し実行していくことで、学習習慣を身に付けさせ家庭学習時間を増やしていきましょう。
- ◎スマートフォンやタブレットの使用時間を決め、長時間にならないようにしましょう。
- ◎今まで行ったテスト問題の復習を中心とした自主学習に取り組ませましょう。

2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。

- ◎「朝食」や「起床時間」などの基本的な生活習慣は身に付いている生徒が多く見られますので、これを継続していきましょう。
- ◎自分で考え自分から行動できるように、お子さんの自主性を尊重していきましょう。